



かなければならない」と指摘し、新エネルギー推進のための組織を新設します。

⑤「消費税の増税は、低所得者への負担が増える逆進性や景気回復への影響など、多くの課題を抱えている」

「社会保障と税の一体改革案は、子育て支援や医療、介護、年金制度など自治体財政や市民生活に大きな影響を及ぼすものとして、地方の声を届ける必要がある」と明確な態度表明をしています。

⑥新規拡充事業としては、子どもの医療費助成は外来一部負担金なしの完全無料化の人がこれまで小学校入学前から小学校3年生まで拡大

井戸県知事へ15項目の要望書を提出

⑦市・町の再生可能エネルギー導入に対し、助成措置を。

宝塚の会から発言

○丹波の会からの発言。丹波市・篠山市は人口減・高齢化がすすんでいる。

学校統廃合が話題だが、住民運動で分校を1つづくりあげるなどしている。

かいばら看護学校の廃止問題がふつてわいた、建物がある間に再開させたい。

丹波市全体でTPPに反対する取り組み、JAともしっかり手をつないでいる。

篠山市で人権条例制定の動きがある。同和復活という逆流になっている。ぜひくい止めていきたい。

○佐用町からの発言。

⑧県がすすめている「新都市計画事業で県が買収した用地の適切な管理を」をなど15項目にわたり、要望を提出しています。

3年前に18人死亡・2人行方不明の大災害、合併前の町との裁判が進行中。

13年は佐用町長選もある。合併で大規模な学校統廃合がすすめられている。中学校は4校を1校に。

○日本共産党県会議員の発言。県政では唯一の野党として、予算の組み換え提案を行っている。

井戸知事は消費税増税を一貫して求めてきた。

「構造改革」兵庫県版の行革プランを推進している、福祉・教育・人件費カット、大型開発「創造的復興」、財

政赤字の理由を震災復興としているが94%は「創造的復興」。

福祉予算、類似他府県との比較、12・2%で最低（1人あたりの普通会計）、教育予算21・5%で最低。大阪府（橋下時代）も急減、先取りしたのが井戸県政。

パナソニックへの補助金の返還を県が求め始めた、私たちの取り組みの成果、しかし218億円を170億円に減らして継続すると（工場3つが1つになった）。

知事の交代で県政轉換を。

○磯貝代表の発言。政治の轉換をもとめる声は蔓延している、中には眠っている地域の会もあるが、ぜひただちに再開してほしい。候補者もすぐに決めてほしい。なんとしても県政を変えていきたい。

戦争の放棄

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。



自衛隊記念行事 観閲式、戦闘訓練展示の様様

変えよう！憲法どおりの兵庫に向けて！（ブログより）



陸上自衛隊第3師団創立51周年と千僧駐屯地創設61周年を記念する行事が5月19、20日、伊丹市の千僧基地でありました。

記念行事の「メイン」は日ごろの「訓練」の成果を見せる日曜日の観閲式と戦闘訓練展示です。155ミリりゅう弾砲による空砲で、基地から数百メートル離れているマンションにも大音響が響き、壁がゆれるほどです。

住宅地に隣接しているため、近くの市民は「壁が落ちる」と言っています。

20日午前の観閲式で、観閲官は「国家の防衛の最後の砦として、任務はいよいよ重大で

ある」「軍事のプロフェッショナルとして任務を遂行できるように」と訓示。

和歌山防衛協会会長は超タカ派挨拶。「尖閣、竹島などの領土問題は、まともな国なら戦争が起こってもおかしくない事態だ。国民の生命も守れない国になっっている。平和憲法とやらを変え、国軍として活躍できるようにしていきたい」。

戦闘訓練展示では、敵の陣地を占領するというシナリオで、様々な戦闘行為が披露されました。

155ミリりゅう弾砲が何発も空砲されましたが、無理やりに敵をつくらず、戦闘訓練の費用を暮らしや雇用にまわせば貧困・格差は改善されます。

平和外交を貫くことで、「軍事のプロフェッショナル」も必要なくなるでしょう。